

## 令和5年度 第2回史跡カリンバ遺跡整備検討委員会 議事録

場 所：オンライン会議（恵庭市役所 2階 205 会議室）

日 時：令和5年10月16日（月）15:00～15:40

出席者：

（委 員）高瀬委員長、加藤委員、西村委員、吉田委員、脇谷委員

（オブザーバー）北海道教育庁 内田専門主任

（事務局）郷土資料館 高野館長、長町主査、杉浦主事

### ■開会

### ■議題

#### (1) 整備基本計画改訂版の修正について

<事務局>

議題について説明。以下補足説明。郷土資料館としては、早期に短期計画部分を完了させたい考えで事務を進めております。本日の資料にあります史跡カリンバ遺跡整備基本計画（改訂版）について令和6～8年の3か年で整備をしたいと考えております。しかし、市の予算措置が現時点で確定しているものではないということをご理解ください。また、市の予算が確保されることを前提として、財源として文化庁からの補助金を活用することとして市内部で調整を進めております。こちらにつきましても年度ごとの補助金の配分額によって、年次計画の期間に大きく影響が出てきますので、この点についてもご理解ください。所管課としましては、引き続き早期の現地整備完了に向けて努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

#### ●意見・質問および回答

<D 委員>基本計画改訂版 77 頁に、予算が 5,100 万円で基本設計と実施設計を行うと書いてありますが、短期設計の基本設計と実施設計でよろしいですね。また、長期計画の方も同じように基本設計と実施設計をするということによろしかったでしょうか。

<事務局>はい、現時点では短期計画の基本設計、実施設計及び現地整備の概々算が 5,100 万円と考えております。

<D 委員>5,100 万円の内訳ですが、伐採や整地など様々な項目がありますが、どこにいくらお金を使うかは次の基本設計で重要になります。次の基本設計のときに具体的に検討するということがよろしかったですか。基本計画では概算で伐採や標柱などの金額を書くこともあるのですが、そのあたりの考えを教えてください。

<事務局>個別には概々算である程度以前の計画から割りかえして金額を出しております。企画・財政サイドからは総額を出してもよいが、年次の額は約束できるものではないと言われております。前回の委員会では、5年間で5,100万円と示しましたが、現在は3年間で

5,100万円としております。個別の金額については、今後の基本設計で考えていくものと考えております。

<D 委員>わかりました。

<A 委員>記名サイン板とは何でしょうか。

<事務局>道路からこの場所が遺跡だとわかるようなものを記名サイン板と呼んでいるようですので、案として記載いたしました。

<A 委員>わかりました。西地区のさらに西側に新たに歩道が短く付けられて外に出られるようになっていますが、こちらは歩道につながるようにするのでしょうか。

<事務局>そちらに関しましては、A案・B案は一度D委員にご相談しまして、隣接する北海道文教大学に連絡通路を設ける必要があるのではないかとということで、園路を設けております。北海道文教大学にご相談したわけではありません。あくまでこちらの希望でございます。

<D 委員>今のお話で、園路が非常に長いので北海道文教大学につなげるのが良いのか歩道につなげるのが良いのかわかりませんが、長い園路を周りの歩道との接続が無い中で歩いてもらうというのはなかなか難しいです。50m、100m毎に外に出られるショートパスを周囲の公道や施設との接続する方が良いと思い提案しました。北海道文教大学でなければならぬというわけではありません。ただ、北海道文教大学から見学者が来ることもあると思い提案しました。

<A 委員>キャンパスとの接続予定となっている場所は現状どうなっていますか。

<事務局>歩くことは可能です。

<A 委員>わかりました。道を造れば大学との連絡は可能ということですね。

<事務局>可能です。

<E 委員>基本計画改訂版 66 頁の展示室について確認したいです。床下に透明な強化ガラスを張って、その下に合葬墓の製品を展示するというのですが、地盤からは縁が切れた上に配置するということがよろしいでしょうか。というのも、透明ガラスを張って遺構を覗き見るという展示はあるのですが、結構ガラスが結露して遺構が見にくくなるであるとか、結露が遺構に落ちて窪みが発生するなどあります。

<事務局>基本設計を進める中で曇らない方法などを検討していく予定です。

<A 委員>郷土資料館に展示されているレプリカを活用して展示するというのでしょうか。

<事務局>すでに合葬墓のレプリカが 3 基ありますので、これを実際の位置関係で地下に配置して上から見るというイメージをしております。

<A 委員>わかりました。本物の地面をガラスで覆うわけでは無いので、ハードルは高くないと思います。他の委員から何かありませんか。B 委員、先ほど短期計画の A 案・B 案で西側がキャンパスとつながっているのですが、園路とつながることでメリット、デメリットがあるかと思われそうですが、大学としてはいかがでしょうか。

<B 委員> 大学ではまだ何もお話ししておりません。検討に入っていないので、今後の企画調整課を通じた協議になるかと思われます。

<A 委員> わかりました。もし接続できないということになれば歩道につなげることもできるかと思われますので、今決める必要はないと思います。

## (2) 令和 6 年度の国庫補助申請内容について

議題について説明。

### ●意見・質問および回答

<D 委員> 来年も委員会を開くと思います。基本設計の仕様書に何を検討するか書くのですが、次回の委員会を開いた後に発注するのですか、それともある程度基本設計を発注してから委員会を開くのでしょうか。整地や伐採等ありますが、予算には限りがあるので優先順位が必要になります。優先順位については市の方で決めて、それについて委員会で検討するのか、それとも市で考える前に委員会で優先順位について話し合うのかで大きく変わると考えます。見学ポイントがいくつかありますが、このポイントは施設整備の対象項目には入っていないですね。再確認ですが、この見学ポイントで史跡を復元するわけでは無いですね。

<事務局> はい、現状のままで復元する予定ではありません。

<D 委員> そうしますと、そこで何をjせて何を説明するのか、その内容によってどこを伐採すべきなど、そういったことを話し合う必要があると考えます。基本設計を出す際は必ず検討する内容を書きますから、ただ漠然と金額を出さないと思います。そのため、そういった議論を次回の委員会でするのか、それとも既に目安がついているのか聞きたいと思います。

<事務局> 基本設計の仕様書発注に関しましては、少なくとも令和 6 年度の 4 月以降の予算が確実に成立してからになります。また、委員会は令和 6 年の 1 月に予定しておりますので、そこで今回の方向性が認められて市の予算もつけば、ある程度こちらで計画を考えたと上で基本設計の進め方について諮っていただければと思います。

<D 委員> わかりました。もう一度委員会があるんですね。

<事務局> 開催する予定です。

### ■閉会